

医療の 話題 No.240



DMAT(Disaster Medical Assistance Team) 隊員養成研修に参加して

薬剤部薬剤師 齋藤 静果

2024年9月11日～14日に兵庫県災害医療センターにてDMAT(Disaster Medical Assistance Team) 隊員養成研修に参加させていただきました。

昨年、当院呼吸器外科部長・統括DMATの原田洋明先生の、災害医療に関するご講演を拝聴したことがきっかけとなり本研修に臨むことを決意致しました。

次々と映し出される災害現場と、懸命に被災地の医療を支えるDMAT隊員の姿を見て、医療従事者として、薬剤師として、何かできることはないだろうか。と自分の中で気持ちが動いたのを今でも覚えています。

研修は様々な災害を想定したシミュレーションを通して、受講生でディスカッションを行うグループワークが主体でした。そのほかにも、トランシーバーや衛星電話の操作方法、トリアージの方法、情報・行動記録(クロノロジー)の書き方等を学びました。受講生のほとんどが普段から救急医療に携わっておられる医師、看護師の方々で大変刺激を受けると共に、身の引き締まる思いが致しました。自分が想像していた以上に普段の調剤業務、病棟業務からかけ離れた世界に足を踏み入れたような気持ちがしておりましたが、まれに薬のことが話題に上がると頼ってくださる場面もあり、ほんの少しでも自信が持てるような瞬間もありました。

最終日には消防隊の方々と災害を想定した合同訓練が行われました。それまでの3日間しっかりとシミュレーションやディスカッションをしてきたつもりでしたが刻々と変化する状況と、次々に押し寄せてくる情報量に圧倒され全く自分が思うように立ち振る舞うことができませんでした。机の上でのシミュレーションももち

ろん大切ですが、動きを交えた訓練を重ねることがとても重要であることを痛感致しました。

DMAT隊員証を交付されて間もなく、先日行われた東広島市総合防災訓練に末田医師、笠原看護師、廣田看護師、小川看護師と参加しました。震度6強の直下型地震により市内のいたるところで家屋の倒壊、道路の損壊に伴い孤立地域が発生、多数の死傷者、電気、ガス、水道、電話等のライフラインが広範囲に大きな被害が生じている状況を想定した訓練が実施されました。消防隊、警察、自衛隊、ガス会社、電力会



社、地元の中学校、自治組織等延べ76機関が参加し、相互に連携をとりながら訓練にあたりました。私たちは倒壊した家屋から要救助者を救出するために出動し、指揮所から指示を受け、現場の状況について消防隊員から情報収集し、要救助者のところへ向かいました。当日は雨が降っており、視界も悪く、地面もぬかるんでいたのですが実際の被災地がいつも晴れていると

は限らないので大変貴重な訓練となりました。

台風、大雨、土砂災害、地震、津波、火山等、世界と比較しても自然災害が多い“災害大国”日本で私たちは生活をしています。つねにアンテナをはっておくことが重要であり、必要とされる場面でチームに貢献できるよう研鑽を重ねて参りたいと考えています。

